

公益財団法人日本郵趣協会

2020年度事業計画

【基本となる考え方】

日本及び世界各国の郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究—これを「郵趣」という

「郵趣」を通して、郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承していく

もって心豊かな潤いのある社会創造に寄与する

これは2011年の公益法人化に際して、定款に掲げた目的である。現在、社会一般の郵便離れが進んでおり、切手や郵便文化に関心を持たない人たちが増えてきている。しかし、厳しい状況に関わらず「郵趣」を広く社会に普及していく私たちの基本姿勢に揺るぎはない。協会の事業は一部の好事家や特定の郵趣家だけではなく、初心者からベテランまで「郵趣」を愛する全ての人たちを対象にしていることにも変わりがない。

この決意のもと、2020年、日本郵趣協会は「3F」のスローガンを掲げて「百年起業」を目指す。すなわち、

1. For the philatelic member 「郵趣仲間のために何ができるかみんなで考えよう」
2. For the philatelic world 「郵趣界のために何ができるかみんなで考えよう」
3. For the philatelic future 「郵趣界の未来のために何ができるかみんなで考えよう」

の3つである。

来年2021年は、日本郵趣協会創立75周年の記念すべき年であるとともに、日本の郵便創業150年を迎える。郵趣家が目の前の「現世利益」のみを追い求めるのではなく、強い絆で幅広く様々な分野・方法で郵趣の発展に取り組む決意である。

協会の事業を継承・発展させるには、「会員力の増強」と「財政の安定」が2つの大きな柱となる。会員増強協議会を中心に「展覧会来場者促進&入会キャンペーン」を展開するとともに、切手ワークショップを通じて新しい切手収集家の発掘を図り、正会員・維持会員への移籍をお願いしていく。

一方、あらゆる事業の検証・見直しを継続し、複数の事業が互いに相乗効果が得られるような展開を図り、幅広く多くの方々に気軽にご支援いただけるように寄付を募るとともに、不断の支出削減、収入財源の確保・拡大に努める。

1. 普及啓発事業ではWEBサイトやSNSを通じて幅広く多様な情報を発信、2. 展覧会事業ではスタンプショー、全国切手展JAPEXの2大切手展と地方のスタンプショーを通して郵便切手文化の理解を深めることに繋げる。3. 出版事業では全く新しい形の『ビジュアル日本切手専門カタログ』を刊行、『郵趣研究』における研究発表を充実する。4. 学術調査研究事業では研究発表会、郵趣カンファレンス、文化シンポジウムを積極的に開催し、その知見を広く公開する。5. 国際文化交流事業では文化の祭典として東京2020大会を応援するとともに、日本国際切手展2021の成功へ実施計画の策定・推進の基軸となる。6. 流通促進事業では出品物の充実に努めて公開オークションを開催、郵便切手文化の保全と健全な市場の形成を図る。7. 顕彰事業では今後のより一層の活動を期待して功労者を顕彰し、8. 社会貢献・地域支援事業ではパートナー・サポート企業・団体との協働による取り組みを推進する。また、登録支部・団体が各地域で自主的活動や特性を発揮しながら事業が推進できるように支援を強化する。

開催間近となった東京2020オリンピック・パラリンピック大会、2021年の郵便創業150年、協会創立75周年、日本国際切手展2021。これらを「郵趣」再興の好機と捉えて、理事を先頭に、各地方本部、委員会、研究会等との体制・連携を密にして、積極的な活動を展開していく。

I 公益目的事業

1. 普及啓発事業

万国郵便連合(UPU)加盟約190の国・地域から発行されている郵便切手類が持つ歴史、美しさ、芸術性といった文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、楽しみながら知ることのできる機会を創出する。また、郵便切手文化を次世代に継承するため、質の高い情報を積極的に提供するとともに幅広い分野で普及啓発活動や情報発信を実施する。

(1) 「全国ミニ切手展」キャンペーン

4月の「切手趣味週間」(切手趣味週間の切手発行日から1週間)に合わせて、全国の郵便局、学校、博物館など公共施設を中心として、日本及び世界各国の郵便切手類を展示する「全国ミニ切手展」を開催する。実施テーマにあたっては、地域特性を活かした内容、タイムリーで話題性の高い内容等を選定し、郵便切手文化の普及啓発に努める。

(2) 展覧会来場者促進キャンペーン

登録支部・団体及びパートナー・サポート企業・団体との協働・連携の下、全国規模の展覧会への来場者促進キャンペーンを実施する。キャンペーンの取り組みとして、特典情報を掲載したチケット等の作成・配布、集客文化イベントを実施するとともに、広く情報発信を図る。

①スタンプショウ2020来場者促進キャンペーン

実施期間：2020年2月1日(土)～4月19日(日)

②JAPEX2020来場者促進キャンペーン

実施期間：2020年9月1日(火)～11月8日(日)

③スタンプショウ2021来場者促進キャンペーン

実施期間：2021年2月1日(月)～4月18日(日)[予定]

(3) 郵趣入門ガイド

郵便切手類の入手・保存・楽しみ方についてわかりやすく解説した郵趣入門ガイドとして「郵趣スタートガイド」「郵趣リーフ作成ガイド」「日本切手で始めるスタートガイド」「知って得する切手入手ガイド」(4種類)の2020年版の制作、「やさしい郵趣用語ガイド(仮称)」の新規制作を行い、全国規模の展覧会、地方本部主催の展覧会等において普及啓発活動を展開する。

(4) 切手ワークショップ

郵便切手文化を普及するため、誰でもが参加・交流できる切手ワークショップ(入門コース、作品コース)、及び小学生児童を対象とした「楽しい切手ワークショップ」を開催する。実施テーマにあたっては、初心者の人でもわかりやすく、親しみのもてる内容等を選定し、参加プログラムを通して様々なアドバイスを提供する。

①切手ワークショップ(入門コース・作品コース)

広く一般を対象にして、全6回、入門コース・作品コースを実施する。切手の博物館(豊島区)で開催し、最終回はスタンプショウ2021会場で実施する。(開催日は予定)

[6月度] 内容：切手など郵趣品の話、開催日：6月20日(土)

[9月度] 内容：切手など郵趣品の集め方と整理の仕方、開催日：9月26日(土)

[11月度] 内容：マイリーフ作成ガイド、開催日：11月28日(土)

[1月度] 内容：マイリーフ作成実習、開催日：2021年1月23日(土)

[3月度] 内容：アルバムリーフ作成、開催日：2021年3月20日(土)

[4月度] 内容：アルバムリーフ展示と作品鑑賞、開催日：2021年4月19日(土)

②楽しい切手ワークショップ

小学生児童を対象にして、郵便切手に関する基礎知識から実際に切手を見て触れてみる体験を通して、郵便切手への興味から趣味へ進める場として学んでもらう[内容及び開催日は予定]。また、好機をとらえて、どこでも切手教室、出張切手ワークショップ等を開催する。

[第1回] 内容：体験！切手はり絵、世界の切手でしおり作り、使用済み切手つかみ取り、開催日：4月17日(金)～4月19日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

[第2回] 内容：自由研究の作品鑑賞、ぼすくまにお手紙を書こう！、開催日：8月23日(日)、会場：目白・椿ホール(豊島区)

[第3回] 内容：年賀状やクリスマスカードの作り方、開催日：12月5日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

(5) 郵趣図書の普及促進

郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究に必要な出版物を広く全国の公立図書館に配備・リクエストすることにより、地域市民の誰でもが郵便切手文化の学習活動に平等な機会が得られることを実現し、教育と文化の発展に寄与する。

(6) WEBサイト及びSNSの活用

インターネットによる情報公開の重要性に鑑み、切手発行情報、展覧会、出版物及び文化シンポジウム等に関する最新情報をホームページに適時掲載し、広く社会一般に公開、提供する。また、英語版ホームページを通して海外への情報発信にも努める。さらに、公式フェイスブック、公式ツイッター等のSNSを活用して多様な情報を発信し、多数の人々が参加する双方向的なコミュニケーションを図る。

(7) 全国郵趣大会

全国各地における郵趣活動の結びつきを図り、郵趣に関する情報並びに課題の共有・活用の推進を図るため、全国郵趣大会を開催する。併せて、郵便切手文化の普及啓発並びに学術調査研究に貢献した功労者の顕彰、文化シンポジウム等の企画イベントを実施するとともに、交流と親睦を深める記念レセプションを開催する。

①全国郵趣大会2020in山口(第38回)

会期：9月12日(土)・13日(日)、会場：湯田温泉ホテルニュータナカ(山口市)、後援：日本郵便(株)中国支社[予定]、企画運営：中国・四国地方本部

②全国郵趣大会2021in横浜(第39回)&創立75周年記念パーティ[準備作業]

会期：2021年8月28日(土)、会場：パシフィコ横浜アネックスホール他(横浜市)、後援：日本郵便(株)南関東支社[予定]、企画運営：関東地方本部、75周年記念事業委員会

(8) 地方本部主催の「切手のつどい」

郵便切手文化に関する情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、地域市民の資源として共有・活用する基盤作りのため、誰でもが参加・交流できる「切手のつどい」を開催する。

①防府切手のつどい2020春

会期：4月5日(日)、会場：デザインプラザHOFU[山口・防府地域工芸・地場産業振興センター](山口県防府市)、主催：中国・四国地方本部、防府支部

②福山切手のつどい2020春

会期：4月26日(日)、会場：まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、主催：中国・四国地方本部、福山支部

③新潟県郵趣の集い2020in三条(第26回)

- 会期：6月7日(日)、会場：三条商工会議所会館(新潟県三条市)、主催：中部地方本部、新潟県央支部
- ④静岡県郵趣の集い2020in沼津
会期：6月27日(土)・28日(日)、会場：ホテル・エルムリージェンシー(静岡県駿東郡)、主催：中部地方本部、沼津支部
- ⑤岡山切手のつどい2020
会期：6月28日(日)、会場：岡山国際交流センター(岡山市)、主催：中国・四国地方本部、岡山支部
- ⑥筑後地方切手のつどい2020(第22回)
会期：7月26日(日)、会場：小郡市生涯学習センター(福岡県小郡市)、主催：九州・沖縄地方本部、小郡支部
- ⑦防府切手のつどい2020夏
会期：8月2日(日)、会場：デザインプラザHOFU[山口・防府地域工芸・地場産業振興センター](山口県防府市)、主催：中国・四国地方本部、防府支部
- ⑧福山切手のつどい2020秋
会期：10月[予定]、会場：まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、主催：中国・四国地方本部、福山支部
- ⑨関西郵趣家のつどい2020・切手だいすき集まれ！
会期：11月27日(土)・28日(日)[予定]、会場：エディオンアリーナ大阪[大阪府立体育会館](大阪市)、主催：関西地方本部
- ⑩防府切手のつどい2020冬
会期：2020年11月29日(日)、会場：デザインプラザHOFU[山口・防府地域工芸・地場産業振興センター](山口県防府市)、主催：中国・四国地方本部、防府支部
- ⑪広島切手のつどい2021
会期：2021年2月28日(土)、会場：ホテルチューリッヒ東方2001(広島市)、主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部
- ⑫北九州切手のつどい2021
会期：2021年2月14日(日)、会場：アジア太平洋インポートマート[AIMビル](福岡県北九州市)、主催：九州・沖縄地方本部、北九州支部、後援：(公財)西日本産業貿易コンベンション協会、日本郵便(株)北九州中央郵便局[以上予定]

2. 展覧会事業

郵便切手類及び郵便制度に関する研究を発展させるとともに、作品を鑑賞することにより豊かな情操を養い郵便切手文化に理解を深めるため、展覧会を開催する。郵便切手文化の独自性と継承性を確立することで出品者及び参観者の高いモチベーションを維持し、文化シンポジウム・イベント等を企画・実施してPR効果を高め、集客の増加を図る。また、積極的にパートナー・サポート企業・団体との協働プロジェクトを推進し、企画プログラムの充実、より多様なニーズに応える。

(1) 全国規模の展覧会

①世界切手まつり スタンプショウ2020(第44回)

世界各国の郵便切手類や郵便消印に関して楽しみながら知ることのできる展覧会として、企画展示「東京2020オリンピック・パラリンピックとつながる切手展」、「切手にみる食の世界」の開催、フリースタイル切手展2020、第21回トピカル切手展の作品を公募する。また、パートナー・サポート企業・団体と協働して、企画イベントの実施、広報の周知を図る。

開催テーマ：「何だか面白いぞ、切手！」、会期：4月17日(金)～4月19日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：駐日エストニア共和国大使館、東京新聞 [以上予定]、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)伊藤園、(株)鼓月、(株)サカモト、(株)ながとも、(株)八丁幸、(株)不二家、町田酒造(株) [以上予定]、協力：(株)箸勝本店、切手の博物館 [以上予定]

東京2020応援プログラム[認証事業]

②世界切手まつり スタンプショウ2021(第45回)[準備作業]

広く一般の方々に郵便切手文化を身近なものとして楽しんでもらえるように開催テーマを設定し、企画展示及び企画イベントの実施計画について運営準備を進める。また、協力いただけるパートナー・サポート企業・団体の協賛を募る。

企画展示「花シリーズ切手発行60年(仮称)」、「日本の風景印90年(仮称)」の準備作業、会期：2021年4月16日(金)～4月18日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、協賛：日本郵便(株)他、協力：切手の博物館、郵政博物館 [いずれも予定]

③第55回全国切手展(略称:JAPEX2020)

郵便切手類と郵便制度の研究成果を発表するコンクール形式の展覧会として、企画出品「台湾1895-1945」、「新昭和切手75年」、特別出品「ベートーヴェン生誕250周年 音楽切手展」の開催、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティック、ユース、文献、ワンフレーム、オープン、その他の全11クラスの競争作品を公募する。本展覧会において金銀賞以上の賞を受賞した作品には、国際郵趣連盟(FIP)主催の国際切手展への出品資格が付与される。併せて、公式ガイドブック、記念出版物を発行して、研究発表の成果を広く一般に公開する。

開催テーマ：「令和の時代も郵趣と共に」、会期：11月6日(金)～11月8日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：外務省、ドイツ大使館、(公財)日本台湾交流協会、協賛：日本郵便(株)、(株)伊藤園、(株)鼓月、(株)ながとも、(株)日本郵趣出版、富士急行(株)、協力：(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合、ベートーヴェン・ハウス、ドイツ観光局 [いずれも予定]

※(公財)日本台湾交流協会の助成事業として実施[予定]

④第56回全国切手展(略称:JAPEX2021)[準備作業]

郵便切手類及び郵便制度に関する研究をさらに発展させるため、企画出品及び文化シンポジウムの実施計画について運営準備を進める。

招待出品：「日本国際切手展2021凱旋展(仮称)」の準備作業、会期：2021年11月5日(金)～11月7日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、協賛：日本郵便(株)他、協力：(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合[いずれも予定]

(2) 地方本部主催の展覧会

①スタンプショウ高松2020(第11回)

会期：4月18日(土)・19日(日)、会場：市民交流プラザIKODE瓦町(香川県高松市)、主催：中国・四国地方本部、高松支部

②スタンプショウ横浜2020(第11回)

会期：5月4日(月・祝)～5月10日(日)、会場：新聞博物館(横浜市)、企画展示「東京2020オリンピック・パラリンピックとつながる切手展」、主催：関東地方本部、横浜支部、湘南郵趣の会、相模原支部、後援：日本郵便(株)南関東支社、神奈川新聞社 [以上予定]

東京2020応援プログラム[認証事業]

③スタンプショウ=ヒロシマ2020(第37回)

会期：6月13日(土)・14日(日)、会場：広島県立産業会館(広島市)、企画展示「東京2020オリンピッ

ク・パラリンピックとつながる切手展」、主催：中国・四国地方本部、スタンプショウ＝ヒロシマ実行委員会、後援：広島市、広島市教育委員会、日本郵便(株)中国支社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、中国新聞社 [以上予定]

東京2020応援プログラム[認証事業]

④スタンプショウくだまつ2020

会期：6月20日(土)・21日(日)、会場：スターピアくだまつ[下松市文化健康センター](山口県下松市)、主催：中国・四国地方本部、周南支部、後援：日本郵便(株)中国支社、みなと山口合同新聞社 [以上予定]

⑤大阪切手まつり2020(第22回)&関西スタンプショウ2020(第33回)

会期：7月4日(土)・5日(日)、会場：大阪駅前第3ビル(大阪市)、主催：関西地方本部

⑥スタンプショウふくやま2020(第41回)

会期：8月22日(土)・23日(日)[予定]、会場：まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、主催：中国・四国地方本部、福山支部、後援：日本郵便(株)中国支社、中国新聞社 [以上予定]

⑦彩PEX2020(第21回)

会期：9月[予定]、会場：未定、主催：関東地方本部、川越支部、後援：日本郵便(株)川越郵便局、川越市教育委員会、埼玉新聞、埼玉県郵趣連合 [以上予定]

⑧スタンプショウかごしま2020(第23回)

会期：10月3日(土)・4日(日)、会場：サンプラザ天文館(鹿児島市)、主催：九州・沖縄地方本部、鹿児島支部、後援：日本郵便(株)九州支社、南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、KKB鹿児島放送、KYT鹿児島読売テレビ、エフエム鹿児島、鹿児島シティエフエム[以上予定]

⑨大阪秋の切手展2020(第8回)

会期：10月10日(土)・11日(日)、会場：京セラドーム大阪「スカイホール」(大阪市)、主催：関西地方本部、後援：日本郵便(株)近畿支社 [以上予定]

⑩スタンプショウはかた2020(第31回)

会期：10月17日(土)・18日(日)、会場：TKPカンファレンスシティ博多(福岡市)、主催：九州・沖縄地方本部、福岡支部、後援：日本郵便(株)九州支社、福岡市教育委員会、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、FBS福岡放送局、TVQ九州放送、テレビ西日本、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、西日本新聞社 [以上予定]

⑪中部スタンプショウ2020in富山(第19回)

会期：10月31日(土)・11月1日(日)、会場：グランテラス富山(富山市)、主催：中部地方本部、富山支部、後援：日本郵便(株)北陸支社 [以上予定]

⑫関西スタンプショウ2021(第34回)

会期：2021年3月13日(土)・14日(日)[予定]、会場：大阪駅前第3ビル(大阪市)、主催：関西地方本部、後援：日本郵便(株)近畿支社、(一社)切手文化博物館 [以上予定]

(3) 展覧会への出品促進

競争作品を公募するコンクール形式の展覧会への出品を促進するため、あらゆる機会を活用した周知活動を行うとともに、出品公募前に出品物の添削・助言等を行い、審査結果発表後に出品者への助言の機会を設ける。

①フリースタイル切手展、トピカル切手展の応募要項・出品申込書の作成・配布

- ②JAPEX2020ルールブックの作成・配布
- ③新規出品者の育成及び出品コンサルティングの実施
- ④クリティーク(審査員と出品者との対話)の実施
- ⑤応募作品のデータベース化

(4) 公認審査員制度と審査員の育成

コンクール形式の展覧会において適正な判定と円滑な運営を行うため、公認審査員制度を活用して国内審査員の育成を図る。また、国際切手展郵趣セミナーを開催するとともに、世界の展覧会の潮流と審査の状況を有資格者と共有し、審査技術の向上と平準化を図る。

3. 出版事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報を社会一般に広く供するため、万国郵便連合(UPU)加盟約190の国・地域から発行されている郵便切手類に関する内容、意匠、データ並びに郵便制度に関する研究を基にして、各種出版物を発行する。

(1) 書籍及び研究報告書

①郵趣モノグラフ

- A.「第1次国立公園図案切手収集の新展開」(4月15日刊行)
- B.「製造面から見た書状10円期の記念特殊切手(仮称)」(11月刊行予定)

②JAPEX2020記念出版『台湾の日本時代(仮称)』(2021年3月刊行予定)

③創立75周年記念出版『戦後の日本郵趣史(仮称)』[刊行準備作業]

④研究報告書

(2) 定期刊行物

- ①切手を楽しむ雑誌『郵趣(YUSHU)』月刊/12回発行
- ②週刊速報紙『郵趣ウィークリー』週刊/50回発行
- ③郵趣専門誌『郵趣研究(The Philatelic Studies)』隔月刊/6回発行
- ④WEB版『世界新切手ニュース』月刊/12回配信
- ⑤WEB版『郵趣ウィークリー』週刊/50回配信
- ⑥WEB版『郵趣研究』隔月刊/6回配信

(3) 切手カタログ

- ①『さくら日本切手カタログ2021』(4月20日刊行)
- ②『テーマ別切手カタログVol.6 スポーツ編』(7月刊行予定)
- ③『ビジュアル日本切手専門カタログ1876-1914/小判・菊・旧高額(仮称)』(10月刊行予定)
- ④『新中国切手カタログ2021』(12月刊行予定)

4. 学術調査研究事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報(データベース)などを基に学術調査研究を行い、その研究成果を広く社会一般に還元するため、活動事例紹介、研究発表会(ミニペックス)、郵趣カンファレンス、文化シンポジウム等を開催し、広く一般に知的情報の公開・周知を図る。

(1) 研究会

専門分野別に研究会を設置して学術調査研究の充実・発展を図るとともに、未分野の研究会発足を促進する。全国規模の展覧会においては、誰でもが参加できるブース形式またはディスカッション形式により、各研究会の活動事例紹介を実施する。

(2) 研究発表会(ミニペックス)

研究会による学術調査研究成果の発表会を「ミニペックス」と称して、切手の博物館(豊島区)において広く一般に公開する。研究発表会では、研究作品の背景と郵趣の本質を分かりやすく説明する作品解説等を実施する。[研究発表名は予定]

- ①昆虫切手研究会創立50周年記念 第35回昆虫切手展
会期：6月6日(土)・7日(日)、研究発表：昆虫切手研究会
- ②第11回世界の植物切手展
会期：6月19日(金)～6月21日(日)、研究発表：植物切手研究会
- ③イギリス切手研究会切手展2020
会期：6月27日(土)・28日(日)、研究発表：イギリス切手研究会
- ④アメリカ切手展2020 america'20
会期：7月3日(金)～5日(日)、研究発表：アメリカ郵趣研究会
- ⑤第18回絵画切手展
会期：7月18日(土)・19日(日)、研究発表：絵画切手研究会
- ⑥日本のロータリー100周年記念切手展
会期：9月17日(木)・18日(金)、研究発表：ロータリー切手研究会
- ⑦JPS航空郵趣研究会展2020—飛行機の消印—
会期：9月19日(土)・20日(日)、研究発表：航空郵趣研究会
- ⑧音楽切手展
会期：9月26日(土)・27日(土)、研究発表：音楽切手研究会
- ⑨第17回震災切手と震災郵趣展
会期：10月2日(金)～10月4日(日)、研究発表：震災郵趣研究会
- ⑩鉄道の日記念鉄道切手展 Railpex2020
会期：10月14日(水)～10月17日(土)、研究発表：鉄道郵趣研究会
- ⑪メータースタンプ研究会展2020
会期：11月13日(金)～11月15日(日)、研究発表：メータースタンプ研究会
- ⑫第6回関東郵趣サロン 楽しい切手展
会期：2021年1月29日(金)～1月31日(日)、研究発表：関東郵趣サロン研究会
- ⑬第12回テーマティック研究会切手展
会期：2021年2月13日(土)・14日(日)、研究発表：テーマティック研究会
- ⑭パソコン郵趣切手展2021
会期：2021年3月6日(土)・7日(日)、研究発表：パソコン郵趣研究会
- ⑮第13回聴覚障害者切手研究会切手展
会期：2021年3月13日(土)・14日(日)、研究発表：聴覚障害者切手研究会
- ⑯菊・田沢MINIPEX2021
会期：2021年3月19日(金)～3月21日(日)、研究発表：菊・田沢切手研究会

(3) 研究公開

郵便切手文化に関する研究事例、実践事例等の専門的知識・知見を幅広く共有するため、各専門研究会会報にとどまらず全国専門誌、ホームページ等において公開発表する。

- ①『郵趣研究』における研究公開
- ②ホームページにおける研究公開「私の切手アルバム」

(4) 郵趣カンファレンス

各専門分野の先進学術事例の調査研究を進めるとともに、その知見を相互に有効活用するため郵趣カンファレンスを開催する。また郵趣カンファレンスにおける発表・意見交換会を踏まえて、その学術事例を出版物またはホームページを通して発表・公開する。[発表テーマは未定]

①イギリス切手の郵趣先進学術事例

会期：6月28日(日)[予定]、会場:切手の博物館(豊島区)

②震災切手の郵趣先進学術事例

会期：10月4日(日)[予定]、会場:切手の博物館(豊島区)

③テーマティック収集の郵趣先進学術事例

会期：2021年2月14日(日)[予定]、会場:切手の博物館(豊島区)

④菊・田沢切手の郵趣先進学術事例

会期：2021年3月21日(土)[予定]、会場:切手の博物館(豊島区)

(5) 文化シンポジウム

講演会、パネルディスカッション、トークショー等の多様な形式により文化シンポジウムを開催し、知見の交換を図るとともに多くの人が参加できる機会を創出する。

①会期：4月17日(金)～4月19日(日)、会場：スタンプショウ2020／東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。[文化シンポジウム名及び講師・ゲストは予定]

A. 研究発表「植物切手・図案別収集の展開」、プレゼンター：石田徹氏(植物切手研究会)

B. 研究発表「レイアウトで選べるパソコンリーフ」、プレゼンター：江村清氏(パソコン郵趣研究会)

C. 講演会「第1次国立公園図案切手収集の新展開」、講師：池田駿介氏

D. 講演会「日本普通切手収集ガイド」、講師：濱谷彰彦氏

E. 講演会「風景印&小型印と郵頼方法～郵趣のための押印サービス～」、講師：富澤昇吉氏

F. 講演会「テーマ別日本切手カタログVol.6スポーツ編・秘話」、講師：田中敏彦氏

G. トークショー「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会切手」、ゲスト：日本郵便(株)切手デザイナー

H. トークショー「おいしいにっぽんの世界」、ゲスト：日本郵便(株)切手デザイナー

I. トークショー「第8回FKD48総選挙応援演説」、ゲスト：古沢保氏

②会期：9月12日(土)、会場：全国郵趣大会2020in山口／湯田温泉・ホテルニュータナカ(山口市)

③会期：11月6日(金)～11月8日(日)、会場：第55回全国切手展／東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。[文化シンポジウム名及び講師・ゲストは予定]

A. 研究発表「音楽切手の研究事例」、プレゼンター：中館輝厚氏(音楽切手研究会)

B. 講演会「製造面から見た書状10円期の記念特殊切手」、講師：永吉秀夫氏

C. 講演会「日治時代の台湾郵便史」、講師：玉木淳一氏

D. 講演会「日本国際切手展2021 イントロダクトリーページの留意点」、講師：佐藤浩一氏

E. パネルディスカッション「ビジュアル日本切手専門カタログ」、パネラー：稲葉良一氏他

F. トークショー「日本国際切手展2021切手」、ゲスト：日本郵便(株)切手デザイナー

G. トークショー「音楽切手の世界」、ゲスト：日本郵便(株)切手デザイナー

H. トークショー「風景印の歴史と楽しみ方～風景印の90年～」、ゲスト：古沢保氏

④会期：12月20日(日)、会場：切手の博物館のクリスマス／切手の博物館(豊島区)。

A. トークショー「冬のグリーティング切手」、ゲスト：日本郵便(株)切手デザイナー

(6) 展覧会助成

郵便切手文化に関する学術研究において、社会的要請及び将来の発展が期待できる研究課題の発表・公開に対して、展覧会助成を実施する。[会場はいずれも切手の博物館、研究発表名は予定]

①第4回映画・演劇人の手紙展

会期：4月24日(金)～4月26日(日)、主催：玉木淳一氏

②第3回「魚木式郵趣」展

会期：5月1日(金)～5月3日(日)、主催：魚木五夫氏

③稲門フィラテリー20周年記念切手展

会期：10月23日(金)～10月25日(日)、主催：稲門フィラテリー

④第5回切手フェスタ

会期：10月30日(金)～11月1日(日)、主催：切手フェスタ実行委員会

⑤ブラボー！はやぶさ2★宇宙郵趣会COSMOPEX2020

会期：11月27日(金)～11月29日(日)、主催：宇宙郵趣会コスモス(登録支部・団体)

⑥第16回中国郵票展

会期：2021年1月23日(土)・24日(日)、主催：福井和雄氏

⑦なでしこ切手倶楽部展2021

会期：2021年2月5日(金)～2月7日(日)、主催：なでしこ切手倶楽部

5. 国際文化交流事業

日本と海外諸国・地域との文化活動の交流を図り、友好関係と相互理解を増進するため、自国の歴史・文化を伝える「小さな外交官」と形容される郵便切手類を通して、国際文化交流を推進する。

(1) 各国外交機関及び各国郵政機関との協働による国際文化交流

各国外交機関による周年記念事業等を鑑み、文化シンポジウム・イベント等を企画・実施してPR効果を高め、国際文化交流の活性化に努める。

①「ベートーヴェン生誕250周年 音楽切手展」(Beethoven's 250th anniversary Music Stamp Exhibition)

会期：11月6日(金)～11月8日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：外務省、ドイツ大使館、協力：ベートーヴェン・ハウス、ドイツ観光局 [いずれも予定]

②「台湾1895-1945」(Taiwan Stamp Exhibition 1895-1945)

会期：11月6日(金)～11月8日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：外務省、(公財)日本台湾交流協会[以上予定]

※(公財)日本台湾交流協会の助成事業として実施[予定]

(2) 国際切手展における国際文化交流

国際切手展の視察、国際郵趣セミナー等の参加を通じて、海外諸国・地域の郵趣家とのネットワークの形成・強化を図るとともに、国際文化交流を契機とした新たな郵便切手文化の研究を推進する。

①国際切手展LONDON2020への文献出品、視察、研究発表

会期：5月2日(土)～5月9日(土)、会場：ビジネス・デザイン・センター(イギリス・ロンドン)

②国際切手展INDONESIA2020への文献出品、視察、FIP総会、研究発表

会期：8月6日(木)～8月11日(火)、会場：インドネシア議会ビル(インドネシア・ジャカルタ)

③アジア国際切手展TAIPEI2020への文献出品、視察、研究発表

会期：10月23日(金)～10月27日(火)、会場：台北世界貿易センター1号館(台湾・台北)

(3) 日本国際切手展2021

郵便切手類と郵便制度の世界的先進学術事例を広く公開するとともに、日本の郵便制度150周年を契機に

郵便切手文化のより一層の普及・拡大を図るため、「日本国際切手展2021」を開催する。その成功に向けて、国際切手展における<JAPAN POST>(日本郵便)ブース出展、JAPAN DAY(レセプション)の開催を通して「日本国際切手展2021」の周知を図る。また、共催団体及びパートナー企業・団体と協働して、実施計画の策定・推進にあたる。

名称：日本国際切手展2021(JAPAN WORLD STAMP CHAMPIONSHIP EXHIBITION 2021)[略称：PHILANIPPON2021]、開催テーマ：「郵便150年 新たな可能性へ」、会期：2021年8月25日(水)～8月30日(月)、会場：パシフィコ横浜/展示ホールB・C(横浜市)、主催：日本郵便(株)、(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合との共催、後援：国際郵趣連盟(FIP)他、賛助：アジア郵趣連盟(FIAP)、運営：日本国際切手展2021組織委員会

(4) 東京2020オリンピック・パラリンピックとつながる切手展

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、スポーツの祭典だけでなく文化の祭典でもある。東京2020大会を通じて郵便切手類が持つ文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、「東京2020オリンピック・パラリンピックとつながる切手展」を東京都台東区(4月)、横浜市(5月)、広島市(6月)、大阪市(7月)の4カ所で開催する。また、東京2020大会をレガシーとして未来に継承するため、東京2020大会に関する郵便切手類の保存・記録に取り組む。

※東京2020応援プログラム[認証事業]

6. 流通促進事業

文化的及び歴史的資料として貴重な国民的財産である郵便切手類を拡散・劣化させることなく、次世代へ着実に継承するため、流通促進事業を実施する。

(1) 流通促進の基盤整備

郵便切手類の偽造品・変造品の不正流通を防止するためにさまざまな対策をとり、郵便事業に対する信頼を確保するため、偽造品・変造品に関する情報をデータベースとして蓄積するとともに、郵便切手文化の保全と健全なる市場の形成を図り、広く利用者の便宜性と拡大に努める。

(2) 公開入札制度<JPSオークション>

公正かつ厳格なマネジメントによる公開入札制度を通して、郵便切手文化を広く一般社会に敷衍するとともに、郵便切手類への不当な投機的流通を防止し、郵便切手類の価値の公正化を図る。

①第527回 開催日：4月19日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

②第528回 開催日：7月4日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

③第529回 締切日：9月15日(火)、メールオークション

④第530回 開催日：11月7日(土)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

⑤第531回&532回 開催日：2021年2月6日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

7. 顕彰事業

日本及び世界各国の郵便切手類及び郵便制度に関して、その普及啓発並びに調査研究に貢献した功労者(個人及び団体)を顕彰し、郵便切手文化の振興と水準高度化を図る。

(1) 選考委員会

各授賞要項に基づき各選考委員会を設置するとともに、選考基準に基づき授賞者を選考する。

①第41回中島健蔵・水原明窓記念賞

②国際大賞(トレーシー・ウッドワード記念賞)

③第40回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)

- ④第40回郵趣文献賞
- ⑤第37回小倉謙賞
- ⑥第35回住野正顕賞
- ⑦登録支部・団体50周年特別表彰

(2) 授賞式

表彰は授賞式をもって行うとともに、選考結果は月刊誌『郵趣』及び当協会ホームページにおいて公開する。

- ①第41回中島健蔵・水原明窓記念賞は、記念すべき式典において受賞者を発表するとともに、授賞式及び記念講演会(記念展示)を公開で実施する。
- ②第40回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)及び第40回郵趣文献賞は、全国郵趣大会2020in山口において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施する。
- ③第37回小倉謙賞及び第35回住野正顕賞は、第55回全国切手展JAPEX2020において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施する。
- ④登録支部・団体50周年特別表彰は、全国郵趣大会2020in山口において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施する。

8. 社会貢献・地域支援事業

郵便切手文化の発展向上に資するとともに「新しい公共」の担い手としての役割を推進するため、パートナー・サポート企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を行う。また、地域市民が行う郵便切手文化の公益的活動への助成や情報・ネットワーク支援を図るとともに、文化活動を担うボランティアの醸成と創造性豊かな人材育成に取り組む。

(1) 「手紙を書こう！プロジェクト2020」

あらゆる世代において郵便切手文化に触れ合う機会を創出し、手紙コミュニケーションの楽しさを体験してもらうとともに、生き生きとした心豊かな社会の実現を目指す。そのため、日本郵便(株)をはじめとした多様なパートナー・サポート企業・団体の協賛を得て実施する。

①ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2020(第9回)

郵便切手類の歴史や文化を身近に感じ親しんでもらうため、小学生児童を対象にして、郵便に必要な切手、消印を題材にした自由研究作品(切手部門、風景印部門)を公募する。郵便切手と郵便消印に凝縮されている産業、文化、歴史を通してSDGs(持続可能な開発目標)に関心をもってもらう学習支援事業であり、夏休みの自由課題として取り組んでもらえるように教育機関等への周知に努める。

発表会：8月21日(金)～8月23日(日)、会場：目白・椿ホール(豊島区)、後援：文部科学省、豊島区教育委員会、(公社)日本PTA全国協議会、読売KODOMO新聞、日本教育新聞社[以上予定]、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(一財)水原フィラテリー財団、(株)ジャパン・ビバレッジ東京、(株)デサント、富士急行(株)、(株)不二家、リソー教育グループ[以上予定]

※日本郵便(株)の年賀寄附金配分事業として実施 [2020年3月末決定]

②タイムカプセル郵便

手紙コミュニケーションの楽しさを体験してもらうとともに、その時代の文化を未来にレガシーとして継承するため、メッセージとなる記録を手紙というツールを通じて、最大10年先まで保管して郵便として届ける。また、日本郵便(株)をはじめとしたパートナー・サポート企業・団体と協働して普及を図る。

募集期間：4月1日(水)～2021年3月31日(水)

協賛：日本郵便(株)、(一財)水原フィラテリー財団、リソー教育グループ [以上予定]

※東京2020応援プログラム[認証事業]

※日本郵政(株)の商標登録使用許諾事業として実施[2020年度許諾済]

③Otegamiフリマ

フリーマーケット形式のイベントとして広く郵便切手雑貨関連のブース出展を募り、郵便切手文化の魅力を見つけてもらうため、お手紙コーナー及びデコレーションポストの設置、郵便局臨時出張所による記念押印サービス等を実施する。

A. Otegamiフリマ2020 SUMMERコレクション 会期：5月22日(金)・23日(土)

B. Otegamiフリマ2020 AUTUMNコレクション 会期：8月21日(金)・22日(土)

※ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2020とのジョイント開催

C. Otegamiフリマ2020 WINTERコレクション 会期：11月20日(金)・21日(土)

D. Otegamiフリマ2021 SPRINGコレクション 会期：2021年2月19日(金)・20日(土)

会場：A. C. D. は切手の博物館(豊島区)、B. は目白・椿ホール(豊島区)、共催：(一財)水原フィラテリー財団、協賛：日本郵便(株)、リソー教育グループ[以上予定]

④手紙ワークショップ

手紙が本来持っている「想いを伝える力」や新たな手紙コミュニケーションの魅力を見つけてもらうため、手紙を書いて、宛名を書き、切手を貼り、郵便局臨時出張所で小型印等の記念押印をしてもらい、郵便ポストに投函するという一連の流れを体験してもらう。

A. 楽しいオリジナル記念品作り

会期：4月17日(金)～4月19日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

B. ぽすくまにお手紙を書こう！[ぽすくまからのお礼の手紙の実施]

会期：8月21日(金)～8月23日(日)、会場：目白・椿ホール(豊島区)

C. クリスマスdeお手紙[切手デザイナーによるオリジナル・クリスマスカードの制作・頒布]

会期：12月4日(金)～12月25日(金)、会場：切手の博物館(豊島区)

(2) 登録支部・団体制度と地域文化活動の支援

郵便切手文化の普及の担い手である市民文化活動の振興を図るため、登録支部・団体制度を活用して連携・強化を図り、各地域における自主的活動や特性を発揮しながら効果的な事業が推進できるように支援する。

①地域における郵便切手文化に関する研究発表、作品解説への講師派遣

②地域が取り組む展覧会及び切手教室への助成

③郵便切手文化活動への広報協力

④地域文化活動の活性化及び企画プログラムの提供

(3) パートナー企業・団体との協働プロジェクト

企業・団体と当協会が互いの特性や持てる資源を活かし合って、その取り組む課題やプロセスを共有し、協働して郵便切手文化に関する新たなニーズに応える。

①日本郵便(株)切手デザイナーとの手紙振興プロジェクト

②手紙の書き方体験授業との協働プロジェクト

③青少年ペンフレンドクラブ(PFC)との周知連携

④春のメッセージフェスタ2021への参画

(4) ボランティアの醸成

郵便切手文化に関する理解と関心を高めてボランティア活動への市民参画の促進を図るため、体験情報

を発信し、支え合いの輪を広げる仕組み作りを推進する。

①郵趣のための押印講習会（技能認定制度）

②展覧会運営ボランティアの公募

(5) 公益活動への支援

様々な主体の参加を通して協働を促進する活動、営利を目的としない自主的・自発的な社会貢献活動である公益活動を担っている団体への支援を行う。

①切手バザール(全8回) [主催：(一財)水原フィラテリー財団]

②全日本切手展2020(第70回)、会期：7月10日(金)～7月12日(日)、[主催：全日本切手展実行委員会、(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合]

③切手の博物館のクリスマス、会期：12月4日(金)～12月25日(金)、[(一財)水原フィラテリー財団共催]

④第24回目白ロードレース、会期：2021年3月[予定]、[主催：目白ロードレース実行委員会]

9. 公益事業資金の造成

郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承する公益事業資金造成のため、協賛していただける企業・団体の募集、幅広く多くの方々に気軽にご支援いただけるよう、さまざまな形での寄付を募る。この益金は、広く社会一般に還元する事業のために充当する。

(1) パートナー・サポート企業・団体の募集

(2) 使用済み切手、書き損じはがきの募集

(3) 財政安定化寄附金（一般寄附金）

(4) スタンプショウ2020寄附金（特別寄附金）

(5) JAPEX2020寄附金（特別寄附金）

Ⅱ 管理部門

1. 会員事業

情報提供サービスの充実と会員のサポートが図れるような施策を実施し、そのメリットを高めていくことにより、会員の維持・拡大を図る。

(1) 会員の維持・拡大

当協会の事業内容の紹介活動を積極的に行うとともに、新規会員獲得に向けたキャンペーン活動を強化する。また退会防止に向けて、魅力ある会員サービスを積極的に提供する。

①春の入会キャンペーン、秋の入会キャンペーン

スタンプショウ2020来場者促進、JAPEX2020来場者促進との連携

②地方本部主催の展覧会等における会員増強活動

上位会員への移籍お願いキャンペーン(普通会員から正会員、正会員から維持会員への移籍のお願い)

③口座振替登録キャンペーン

会員継続のお願い、再入会ダイレクトメール、口座自動引き落としの利用拡大

④『郵趣研究』購読者拡大キャンペーン

クレジットカード利用の新規サービスによる申込促進

⑤『正会員会報』月刊／12回発行

(2) 会員情報管理システムの整備

会員情報を組織的に適正に管理してデータの円滑な利活用を行うため、会員情報管理システムを整備するとともに、事務の簡素化・効率化及び情報提供サービスの高度化を推進する。

2. 交流事業

心豊かな潤いのある社会創造の理念に基づき、会員相互の交流と親睦を深めるとともに、郵便切手文化を国民の資源として共有・活用できる基盤作りを図る。

(1) 新春交歓会

①東京・新春交歓会2021

会期：2021年1月9日(土)、会場：リュド・ヴィンテージ目白(豊島区)[予定]

②大阪・新春交歓会2021

会期：2021年1月11日(月・祝)、会場：徐園(大阪市)

(2) 地方本部主催の郵趣大会

①東北郵趣大会2020in山形(第30回)

会期：6月6日(土)・7日(日)、会場：ヒルズサンピア山形(山形市)、主催：北海道・東北地方本部

②関東郵趣大会2020in三鷹(第36回)

会期：6月20日(土)、会場：三鷹産業プラザ(東京都三鷹市)、主催：関東地方本部

③北海道郵趣大会2020in札幌(第36回)

会期：10月11日(日)・12日(月)、会場：ホテルサンルートニュー札幌(札幌市)、主催：北海道・東北地方本部

(3) コミュニティ通貨「フィラ」

お金では表せない「善意」を交換するコミュニティ通貨「フィラ」の普及拡大と流通促進により、ボランティア活動の活性化を図るとともに、郵便切手文化サービスの循環によって生き生きとした心豊かな社会を実現する。